

平成30年度入学試験問題（前期日程）

小 論 文

人文社会学部 人間社会学科

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

以下の文章を読み、この文章が伝えようとしているメッセージがどのようなものなのかを解釈し、それを明示した上で、私たちが生きている現代社会とはどのような社会なのか、そこで私たちひとりひとりにどのようなことが求められているのかということについて、あなたの考えを 1000 字以上 1200 字以内で述べなさい。

(出題者注)

この文章は、2015 年 11 月 13 日のパリ同時多発テロで妻を失ったフランス人ジャーナリスト、アントワーヌ・レリス氏が、フェイスブック上で公開した、テロリストに宛てた手紙である。130 名以上の死者が出たテロの衝撃に恐怖と憎悪の言葉が飛び交う中、レリス氏は、最愛の人を奪ったテロリストたちに、自分の憎しみも 17 か月になる息子メルヴィルの憎しみも与えない、と宣言した。そのメッセージは世界中を駆け巡り、3 日間で 20 万回以上も共有された。

非公開

非公開

(アントワヌ・レリス著，土居佳代子訳，『ぼくは君たちを憎まないことにした』，ポプラ社，2016年，63～66ページ，抜粋・一部改変)

平成30年度入学試験問題（前期日程）

小 論 文

人文社会学部 人間社会学科

出 題 の 意 図

資料は、フランス・パリでのテロ被害者遺族が加害者に向けて発した形をとった投稿であり、世界中の多くの人の知るところとなったメッセージである。

問題文は、この遺族の表明が何を意味し何を訴えかけているのかを理解した上で、テロや紛争が多発する現代社会をどうみるか、世界と自分との関係の認識や個人としての課題をどのように受け止めているのかを問うている。

受験生に試されるのは、このメッセージの意図を理解する能力と、それを踏まえた自分なりの考えを論理的に構成し論述する力である。それは、人間社会学科のアドミッション・ポリシーに示されている論理的思考・問題解決能力をみようとするものである。